

かもまる通信



【図書館歳時記】 「150 年前の 6 月」

今から 150 年前の慶応 4（明治元年、1868）年 6 月 16 日、新政府軍が富士山、三邦丸、飛隼（ひじゅん）丸という 3 艘の軍艦で平潟（茨城県北茨城市）にやって来て、薩摩藩や佐土原藩、大村藩の部隊が上陸した。ここから、いわきの地での戊辰戦争が始まった。富士山は新政府軍の主力艦。アメリカ製の蒸気船で、大砲 12 門を装備。当初は江戸幕府の持ち船だったが、慶応 4 年 4 月、新政府に譲渡された。また、三邦丸はイギリス製の蒸気船で、薩摩藩の持ち船、大砲の装備はない。慶応 2（1866）年 1 月、京都の寺田屋で負傷した坂本龍馬が、同年 3 月、療養のため、お龍を伴い、鹿児島へ旅をした際、この船を使っている。歴史の巡り合わせというものは、何とも、興味深い。 いわき総合図書館長 夏井 芳徳

おすすめの本紹介

「日本語が面白い！ 数え方の絵本」

ロコ・まえた || 著 柳原出版



この本はタイトルのとおり、物の数え方、難しい言葉で言うと助数詞の本です。生き物の数え方や生活に関わる物の数え方など、様々なもの数え方を分かりやすい絵を添えて紹介しています。例えば、動物の数え方は、人より大きいもの象や馬などは 1 頭 2 頭 3 頭・・・と数え、人より小さいものと数えるそうです。ですが何事にも例外はあるもので、人よりも小さい動物でも、希少な動物は 1 頭 2 頭 3 頭・・・と数えるそうです。

所々にコラムもあり興味深いコラム話が載っています。雑学好きの人にお勧めの一冊です。

「最強の部活の作り方 名門 26 校探訪」

日比野恭三 || 著 文藝春秋



この本は、雑誌「スポーツグラフィック・ナンバー」誌上で、連載された企画をとりまとめたもので、全国優勝の経験がある部活動を全国津々浦々に訪ね「なぜ強いのか」「なぜ強くなれたのか」をテーマに関係者から話を聞き、著者の解釈はできるだけ差し込まず、事実の提示に主眼を置き執筆されています。スポーツにおける格言・金言が目白押しで、現在、どこかの部活動に属し、今よりも高い目標をクリアしたいと考えている指導者や学生さんなどに、有益な情報を与えてくれそうな一冊です。

「すてきなあまやどり」

パレリー・ゴルパチョフ || 作・絵 徳間書店



ざあざあぶりのにわかあめ。ブタくんは、大きな木の下で、あまやどりしたはずなのに、なぜかびしょぬれ。やぎのおじさんが、どうしてびしょぬれなのかを尋ねます。するとブタくんは、笑顔で説明を始めます…。ブタくんの説明にわくわくして、つい引き込まれてしまいます。繰り返しが多く、しかけ付きのページもあり、雨の季節にピッタリの読み聞かせにも向いた絵本です。読むたびに絵の中に新しい発見があり、また、読んだあと、あたたかな気持ちになれる、大人にもおすすめの絵本です。

「一〇五度」

佐藤 まどか || 著 あすなろ書房



イスのデザイナーをめざす中 3 の少年が、編入先の学校で出会った女子と「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦します。中学生としては前代未聞の、この勝負の行方は？ 父親との確執や、「チームを組む」ことの難しさなど、大きな壁に迷いながらも、自分の進むべき道を見出そうとする少年の姿に、胸があつくなります。モノづくりの心と共に、夢と理想だけでは生きていけないクリエイターのシビアな現実も描かれています。「青少年読書感想文全国コンクール」（中学生の部）課題図書。

貸出 TOP10

1	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
2	九十歳。何かめでたい	佐藤愛子 著	小学館
3	素敵な日本人	東野圭吾 著	光文社
4	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾 著	角川書店
5	羊と鋼の森	宮下奈都 著	文藝春秋
6	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子 著	河出書房新社
7	騎士団長殺し 第1部	村上春樹 著	新潮社
8	火花	又吉直樹 著	文藝春秋
9	危険なビーナス	東野圭吾 著	講談社
10	恋のゴンドラ	東野圭吾 著	実業之日本社

予約 TOP10

1	かがみの孤城	辻村深月 著	ポプラ社
2	魔力の胎動	東野圭吾 著	KADOKAWA
3	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子 著	河出書房新社
4	マスカレード・ナイト	東野圭吾 著	集英社
5	蜂蜜と遠雷	恩田 陸 著	幻冬舎
6	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎 著	マガジンハウス
7	大家さんと僕	矢部太郎 著	新潮社
8	盤上の向日葵	柚月裕子 著	中央公論新社
9	キラキラ共和国	小川 糸 著	幻冬舎
10	屍人荘の殺人	今村昌弘 著	東京創元社

知っていますか？便利な図書館機能

【IT コーナーについて】

いわき総合図書館では、インターネット閲覧用パソコンを5階フロアの中央に20台設置しています。ご本人が、自動予約機で図書館利用カードのバーコードを読み取り、利用時間（30分か60分）を選び、受付票を受け取ってから、指定されたパソコンを利用するものです。図書館利用カードをお持ちでない方は、5階カウンターで、特別利用申込書に氏名、住所等を記入し、運転免許証などで本人確認ができれば、ご利用いただけます。

インターネットで調べものをしたい時、利用してみませんか？



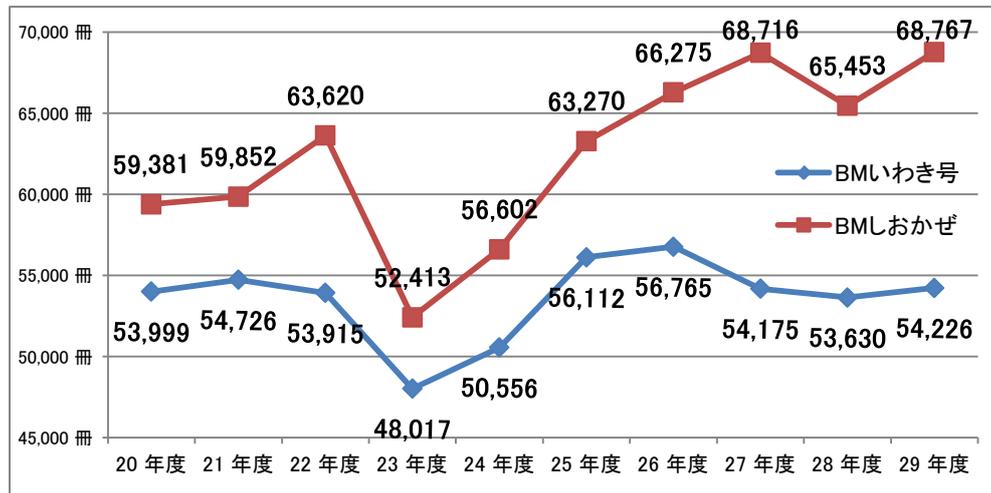
シリーズ 数字で見るいわきの図書館

【移動図書館貸出】

29年度 122,993 冊

移動図書館貸出は、東日本大震災による落込みを除くと、堅調に推移しています。

近年、市内各地を走る移動図書館は、本を通して、地域のコミュニケーションや交流の場にもなっています。



図書館豆知識

「移動図書館」とは…

図書館が遠いなどの理由で、来館できない方のために、沢山の図書を乗せて、市内駐車場所を巡回している車のことで、略してBM (BookMobile) 車と呼んでいます。いわき市では、「いわき号」、「しおかぜ」の2台が117ヶ所の駐車場所を月1回巡回しています。利用者登録した日から（※図書館利用カードを既にお持ちの方は、登録不要）、図書を1人30冊まで、次の巡回日（おおむね1ヶ月）まで、借りられます。どうぞお気軽にご利用ください。

